



おうちの方へ

学校の授業でも、家庭での学習でも、「与えられたものを仕方なくやる」ではなく、「やってみたい」とか「必要だから」とか、「知りたいから」などと、自分から求めて学ぶことができる姿をめざしています。これは、これからの時代を生きていく子どもたちに求められる「主体的に学ぶ力」です。

学校からは、色々な学習方法や学習する意味などを授業の中で教えたり、授業での内容が広がる工夫をしたりしていきます。また、宿題として課題を出したり、自主学習としたりするなど、学年の発達段階や実態に応じて家庭学習を支えています。ご家庭では、お子さんの力に合わせて、家庭での学習を見守ったり、見届けたりしていただくようお願いします。

高学年では、「自分で取り組みたい内容や、自分に必要な内容を考えられる」をめざしましょう。



考える学習	<ul style="list-style-type: none"> • にっきをかく。 • しょくぶつや、いきものなどのかんさつきろくをして、かんそうをかく。 • どくしょをし、かんそうをかく。 • しんしゅつかんじをつかってぶんづくりをする。 	<ul style="list-style-type: none"> • 日記を書く。 • 読書し、感想を書く。 • 新出漢字を使って、短文づくりをする。 • 植物や生き物などをさんさつ・記録して、感想をかく。 	<ul style="list-style-type: none"> • 新聞記事などを読み、要約したり、感想を書いたりする。 • 読書し、感想を書く。 • 新出漢字を使って、短文づくりをする。 • ことわざ、四字熟語を使って短文づくりをする。 • 日記を書く。 	
	<p>じぶんのかんがえをかきあらわすちからがみにつきます。これからのじだいに、もとめられるちからです。</p>			
	<ul style="list-style-type: none"> • わからないことばなどについて、ほんや、インターネットでしらべる。 	<ul style="list-style-type: none"> • 分からない言葉などについて、辞書を使って調べる。 • 自分の知りたいことや課題などについて、本やインターネット、辞書などを使って調べる。 	<ul style="list-style-type: none"> • 分からない言葉などについて、本やインターネット、辞書などを使って調べまとめる。 • 自分の知りたいことや課題などについて、本やインターネット、辞書などを使って調べまとめる。 • 授業で学習したことについて、さらに調べたいことや、興味をもったことについて、調べまとめる。 	
<p>ことばや、ちしきがひろがります。「どうしてかな?」「しりたいな。」というきもちはすばらしい! じぶんでしらべるちからがみにつきます。</p>				
覚えたり確かめたりする学習	<ul style="list-style-type: none"> • ひらがな、かんじ、けいさんドリルにとりくむ。(おうちのひとにまるつけをしてもらって、まちがいはなおしましょう。) • おんどくする。 • きょうかしよの文をかきうつす。 • スタディサプリでもんだいをとく。 	<ul style="list-style-type: none"> • 漢字、計算ドリルなどにとりくむ。(おうちの人に丸つけをしてもらったり、自分で丸つけをして、まちがいはなおしましょう。) • 教科書の視写をする。 • 音読をする。 • テストでまちがえた問題をやり直す。 • 音楽で学んだこと(リコーダーなど)の練習をする。 • スタディサプリでもんだいをとく。 	<ul style="list-style-type: none"> • ワークなどを使って、自分の力を確かめる。 • 教科書の視写をする。 • 音読をする。 • 学習したことの問題を解く。(教科書や問題集など) • テストでまちがえた問題をやり直す。 • 音楽や家庭科で学んだことの練習をする。 • スタディサプリでもんだいをとく。 	
	<p>くりかえすことで、がくしゅうしたことが、ていちやくしていきます。</p>			
1・2年生			3・4年生	5・6年生
<p>ここに、書いてある内容は、例です。また、この他にも、自分の好きなことにチャレンジしたり、色々な場所へ行って体験したりすることも大切な学習の一つです。</p>				